

通貨安競争、回避を確認 G7閉幕

円安加速、日本に関心 麻生財務相「批判的意見出ず」

2013/5/12 付

日本経済新聞 朝刊

【エイルズベリー（英国南部）＝松尾洋平】日米欧7カ国（G7）の財務相・中央銀行総裁会議が11日昼（日本時間同日夜）閉幕した。為替相場は政策目標にはしないとの原則を改めて確認し、通貨安競争を回避する方針で一致した。円安加速で日本に関心が集まり、日本の政策を巡る議論を活発に交わした。麻生太郎副総理兼財務相は会議後の記者会見で「日銀の金融緩和や円安に対して批判的意見はなかった」との認識を示した。

経済史を歩く (52) ワイドフィーバー（1990年） 個人、高利回りに殺到 銀行、市場

と向き合う時代に

2013/5/12 付

日本経済新聞 朝刊

利回り年 9.606%。預けたお金が5年後の満期には約 1.5 倍に……。超低金利の今では考えられない高利回りの金融商品を買おうと、個人が金融機関の店頭に殺到したことがあった。1990年の「ワイドフィーバー」だ。

銀行の支店が密集する福岡市の天神。広い歩道を、住宅ローンの申し込みや相続などの相談をするために多くの人が行き来する。銀行は互いに顧客獲得にしのぎを削るが、地方の金融街にはどこかのんびりした空気も漂う。

そんな街を個人の熱気が覆ったのは、23年前の10月だった。旧日本興業銀行（現みずほフィナンシャルグループ）福岡支店の前にできた行列は表通りに収まりきらず、支店横の路地に及んだ。

お目当ては「ワイド」。興銀などが発行していた5年物利付金融債の利息を半年複利で運用し、満期日に元金と利息をいっしょに受け取る商品だ。バブル末期からの日銀の利上げを受け、5年利金債の利率は90年10月に8%をつけた。この利息を複利運用するワイドの利回りは9%をゆうに超え、「安全、高利回り」の評判は瞬く間に広がった。

<債券> 債券相場は反落

2013/5/7 付

日本経済新聞 夕刊

債券相場は反落。新発10年物国債の利回りは一時0.585%と前営業日2日と比べ0.025%上昇(価格は下落)した。米雇用情勢が改善し、米景気に対する過度の悲観論が後退。連日で米債券相場が下げた流れを引き継ぎ、国内債にも売りが及んだ。先物も反落。

上段：1960-2011において財政赤字を計上した年の割合

下段：もっとも最近財政黒字を計上した年(あれば)

Table 17.3 Per cent years of deficit over 1960-2011 in the OECD area

	Australia	Austria	Belgium	Canada	Germany
Percent Last surplus	80% 2008	82% 1974	96% 2006	76% 2007	78% 2008
	Denmark	Spain	Finland	France	UK
Percent Last surplus	48% 2008	78% 2007	20% 2008	90% 1974	84% 2001
	Greece	Ireland	Italy	Japan	Netherlands
Percent Last surplus	80% 1972	80% 2007	100%	68% 1992	88% 2008
	Norway	New Zealand	Portugal	Sweden	USA
Percent Last surplus	4% 2011	46% 2008	100%	42% 2008	92% 2000

Baldwin and Wyplosz(2012), The Economics of European Integration, 4th ed.